

2026年(令和8年)
6月1日 曜日
第2012号

京都自動車新聞



京ト協各支部 総会本格化
整備需要の動向調査解説
輸入車部会 合同試走会実施
ひと JU近畿青年部会・糸尾代表幹事
不正改造車排除強化月間特集

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp

不正改造車の排除訴え

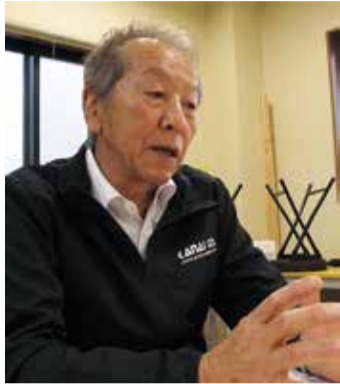
国交省と自動車関係33団体など

6月の強化月間がスタート

国土交通省と自動車関係33団体で構成する不正改造車防止推進協議会が中心となり、内閣府、警察庁などが後援、協力して行われる「不正改造車を排除する運動」の強化月間が1日から始まった。(関連記事8面)

強化月間は、マスメディアやウェブサイトを、NS(交流サイト)を活用し若者世代の興味喚起を促すほか、公共施設の掲示板、デジタルサイネージを利用した啓発活動を積極的に実施する。

また、地域で行われている暴走族を追究するための各種取り組みとの連携を図り、各地方公共団体に発行する広報紙や自



騒動の行方を語る金井理事長

2月末の米・イスラエルによるイラン攻撃を契機にホルムズ海峡が事実上封鎖され、まずはシンナー類(塗料用希釈剤)に影響が波及した。口火を切ったのは日本ペイントだ。3月19日に75%に及ぶ値上げの即時実施がリリースされ、他メーカーも追随。ナフサ不足を受け、出荷数量も2割程度に制限された。

京都塗料商組・金井健理事長「買い込まず沈静化を」

「中東から輸入できなくなった分は、備蓄の放出と他国からの供給で補えている。にもかかわらず、流通量が十分なのは、石油化学メーカー、商社、加工、製造、販売などいずれかの工程で『詰まり』が生じているため」。ホルムズ海峡の封鎖に伴う石油製品不足をめぐり経済産業省の見解だ。これに対し、京都塗料商業協同組合の金井健理事長は「論点のすり替えに他ならない」と異論を唱える。塗料販売店はこの数カ月間、製造元の出荷制限と長納期化で従来通りの在庫量を確保できずにいる。しかしその一方で、車体整備工場側の「あと1缶のストック」の買い足しが品薄状態を助長させているという事実もある。

トルメンを追う⑦

「中東から輸入できなくなった分は、備蓄の放出と他国からの供給で補えている。にもかかわらず、流通量が十分なのは、石油化学メーカー、商社、加工、製造、販売などいずれかの工程で『詰まり』が生じているため」。ホルムズ海峡の封鎖に伴う石油製品不足をめぐり経済産業省の見解だ。これに対し、京都塗料商業協同組合の金井健理事長は「論点のすり替えに他ならない」と異論を唱える。塗料販売店はこの数カ月間、製造元の出荷制限と長納期化で従来通りの在庫量を確保できずにいる。しかしその一方で、車体整備工場側の「あと1缶のストック」の買い足しが品薄状態を助長させているという事実もある。

ナフサショック、いまだ不透明

「容器代もかかるし、負担と雑用は増すばかり」と嘆く。加えて、白・黒ベースコートのほか、養生ポリシート、塗料カッ

にシンナーといっても、季節ごとに乾燥速度や用途によって多種多様なインアップが展開されている。現状、これらの製品群を4缶缶に小分けし、限られた数量を広く行きわたらせる営業努力に、いそいそと販売店が、

「東戦争によって引き起こされた第1次オイルショックでは、塗料の主成分にあたる樹脂や溶剤の仕入れ価格が高騰。業界はパニックに陥ったという。『聞くところによると、仕事が止まってしまふことを恐れ、工場だけでなく販売店も倉庫が満杯になるまで商品を買ひ込んだそう。すると、

プ、テープ類など副資材にもその波紋は派生している。



さらに、近畿運輸局および各運輸支局に不正改造車と迷惑黒煙車に関する情報を受け付ける「情報提供窓口」を設置。電話での受け付け以外に、近畿運輸局ウェブサイトなどに「不正改造車窓口」を

その6年後のイラン革命を受け発生した第2次オイルショックでは、原油高にこそ見舞われたものの、業界内の買い占めは起こらず、そのため物価上昇や製品不足は最小限に抑えられた。」と

「深い逆手に新境地へ」とはいえ、現に架装関係では塗装こそかつて稼働停止を免れているものの、作動油不足で一部装置の生産が遅延している。「この状況が続けば、中小零細は経営上何カ月もたない」(メデア関係者)との見方もある。オイル交換を断らざるを得ない整備工場に

「実際の使用量と異なる架空の需要が生じ、一気に欠品が広がったもようだ。『今の状態に少なからず似ている。その後、売り惜しみを販売店が相次ぎ、その結果製品がだぶつき、危機はほんの数カ月で収束した。』



特に強化月間は、二輪車および原動機付自転車を対象に、基準不適合マフラーに関する

「迷惑黒煙車情報」の多い道路などで効果的な街頭検査を実施し、指導を行う。

「この先、焦点はもっぱら価格面に集中しようだ。いずれにせよ、供給が充足しても、油田の選択肢を広げれば、調達コストがかさみ、ナフサ由来製品の価格の上昇は避けられない」(関係者)。

「これは機に水性化へかじを切る動きも見られる。いざにせよ、供給が充足しても、油田の選択肢を広げれば、調達コストがかさみ、ナフサ由来製品の価格の上昇は避けられない」(関係者)。

「欧州自動車メーカーにとっては調達可能なブランドもあれば、ナフサはアルジェリアやペルーなどからの輸入が本格化している。今後、そもそもの流通経路に変容が生じても何ら不思議はない。事業の方向性にしてもそうだ。一般的に塗料は、建築用、工業用、自動車補修用の3パターンに大別されるが、ナフサショックのあおりを最も受けているのは、大量の溶剤を必要とする工業用だと言われる。建築用はおおむね水性塗料が主流であるため、ダメージは限定的。自動車用でも、これを機に水性化へかじを切る動きも見られる。いざにせよ、供給が充足しても、油田の選択肢を広げれば、調達コストがかさみ、ナフサ由来製品の価格の上昇は避けられない」(関係者)。

「欧州自動車メーカーにとっては調達可能なブランドもあれば、ナフサはアルジェリアやペルーなどからの輸入が本格化している。今後、そもそもの流通経路に変容が生じても何ら不思議はない。事業の方向性にしてもそうだ。一般的に塗料は、建築用、工業用、自動車補修用の3パターンに大別されるが、ナフサショックのあおりを最も受けているのは、大量の溶剤を必要とする工業用だと言われる。建築用はおおむね水性塗料が主流であるため、ダメージは限定的。自動車用でも、これを機に水性化へかじを切る動きも見られる。いざにせよ、供給が充足しても、油田の選択肢を広げれば、調達コストがかさみ、ナフサ由来製品の価格の上昇は避けられない」(関係者)。

不正改造車は犯罪です!

不正改造車の使用者 **整備命令の発令**

不正改造を実施した者 **6か月以下の拘禁刑又は30万円以下の罰金**

不正改造車を排除する運動 **6月は強化月間**

一般社団法人 京都府自動車整備振興会 <https://www.kaspa.or.jp/>

ポスター、不正改造車排除マニュアルを活用しましょう!